

Mikasa

三笠エポックミスト

MWM-502A



取扱説明書

ja

三笠製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してご利用ください。



<http://www.mikasas.com>

701-02505



目 次

1	はじめに	1
2	機械概要	1
3	警告サイン	2
4	安全のための注意事項	2
4.1	一般的な注意事項	2
4.2	設置前の注意事項	2
4.3	設置の注意事項	3
4.4	運転時の注意事項	4
4.5	運搬時の注意事項	5
4.6	保管時の注意事項	5
4.7	警告表示ラベルの貼付位置	6
5	仕 様	7
5.1	仕様	7
5.2	各部装置名称	7
6	基本操作	8
7	運転（準備～始動～停止）	9
7.1	準備	9
7.2	始動	9
7.3	運転	10
7.4	停止	10
8	点検・整備・保管	12
8.1	点検・整備	12
8.2	保管	13
8.3	長期使用製品安全表示制度	14
8.4	故障かなと思ったら・・・	15

1. はじめに

- この取扱説明書は、三笠エッポクミストの正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて記載してあります。本機の優れた性能を生かし、効果的な製品の取扱いができる様に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- お読みになったあとも必ずお手元に保管し、分からない事があった時には、取り出してお読みください。
- この三笠エッポクミストを取扱説明書に書かれている目的以外に使用しないでください。
- 補修部品、パーツリスト、サービスマニュアルおよび修理に関しては販売店、当社各営業所、もしくは三笠部品サービスセンターにお問合せください。
又、パーツリストに関しては三笠ホームページ<http://www.mikasas.com>の三笠WEBパーツリストでも掲載しております。
- 本仕様は予告なく変更することがあります。

この取扱説明書に記載されている写真・イラストは、設計変更等により一部実機と異なる場合があります。

2. 機能概要

用 途

本機は、一定圧力に加圧された水を専用ノズルより空気中に噴霧し、水が蒸発するときに発生する気化熱を利用して周辺の温度を下げる装置です。

- 炎天下でのイベント会場、一般の土木・建築現場等の熱中症、熱射病対策。
 - 空気乾燥時の加湿対策による静電気発生防止。
 - 製造工場等の粉塵対策。
 - 家畜などの畜舎の湿度対策や加湿。
- 等の用途に使用いたします。

誤用途・ご使用の警告

- 本機は、ミストを発生させる装置です。それ以外の用途に使用してはいけません。
- 本機に使用する水は、水道水以外を使用してはいけません。
水道水以外を使用すると、含まれる雑菌が空気中に飛散し健康を害する危険性が生じますと共に、砂等による本機内部の詰まりを生じ故障の原因になります。
- 本機使用後は、必ず水抜きを行ってください。
- 長期保管前後は、必ずタンク内を清掃してください。且つ、長期保管後はタンク内を消毒してからお使いください。

構 造

本機は、貯水タンクと高圧ポンプ並びに操作パネルを収納した本体部分と、本体上部に取り付けられた扇風機と高圧の水を噴霧する6個のノズルから構成されています。
本体下部にはモーター一体型の高圧ポンプが装備されています。貯水タンク外部後方には、ホースの差込口と水の注入口を設け、貯水タンク内には、フロート式の止水装置やストレーナー、排水用ドレンが設けてあります。本体背面にあるコントロールパネルでは、モーターの始動停止やタイマー設定、ミストの噴霧間隔の調整などができます。

動力伝達

原動機には、単相100Vのモーターを使用し、ポンプ(モーターと一体型)を動かします。
水道水のホースを給水ホース取付口に接続するか、または水道水を直接給水口から入れると、水はストレーナーを通りシースタンクに送られます。コントロールパネルにてモーターポンプを起動すると、一定圧力に加圧された水が扇風機に取り付けているミストノズルから噴霧してミストを発生させます。

3. 警告サイン

本取扱説明書および機械に貼付けてあるラベルの  マークは警告サインです。安全上、必ず厳守してください。

	人体に対する危険がある場合
 危険	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険が極めて高い場合
 警告	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険があり得る場合
 注意	指示を守らないと、怪我や傷害事故が生じる可能性がある場合
注意	指示を守らないと、物的な損害が発生する可能性がある場合

4. 安全のための注意事項

4.1 一般的な注意事項

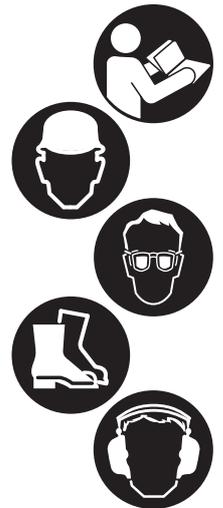
警告

- こんな時は作業をしない。
 - 過労や病気などで体調が悪いとき。
 - 医薬品や薬物を服用したとき。
 - 飲酒をしたとき。



注意

- 取扱説明書を良くお読み頂き、正しい取り扱い方法で安全に作業を行ってください。
- 本機の構造を充分理解した上でご使用ください。
- 発電機を使用する場合は発電機に付属している取扱説明書を必ず参照してください。
- 作業を安全に行うために、防護具(ヘルメット、ゴーグル、安全靴、耳栓等)を着用し、適切な作業服で作業してください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物を使用してください。
- 水道水以外の水を使用しないでください。
- 常に機械を点検し、正常であることを確認してから運転してください。
- 機体の貼付銘板(操作方法・警告銘板等)は安全を守るために非常に重要です。機体を清掃し、常に読みやすい状態を保ってください。読み取りにくくなった場合は、新しい銘板に交換してください。
- 幼児等が触れると大変危険です。保管方法、保管場所には充分注意してください。
- 三笠純正部品を使用しない場合や、改造及び修正を加える事で発生した如何なる事故・故障に関して、当社は一切責任を負いません。



4.2 設置前の注意事項

危険

- ご使用前(さし込みプラグを電源にさし込む前)に下記を確認してください。
 - コードを点検して、磨耗や亀裂等により導体部が露出していないか点検してください。露出しているとショート(短絡)による火災や感電の原因になります。
- 使用電源の確認。
 - 三笠エッポクミストは規定の電源(单相100V)に発電機または商用電源を使用してください。
 - 出力に余裕のある発電機を使用してください。始動時に余裕のある電流がないと発電機の寿命が短くなるとともに、故障の原因になります。
- 漏電しゃ断器の確認
 - 本機は電圧が100Vの单相電源を使用します。電源が発電機以外の場合、漏電しますと大変危険ですので、商用電源の場合は必ず漏電ブレーカーを使用してください。



警告

- 設置する前に接地場所に、電線管・水道管やガス管などの危険物が無いことを十分に確かめてください。危険物があると本機が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- 設置場所は必ず平坦でまわりに障害物が無いところを選んでください。周囲の不要な機械や鉄骨、シート、木片などの邪魔になるものは取り除き、整理整頓を励行してください。転倒したり引っ掛かたりして事故の原因となります。
- 雨や雪の中や水しぶきのかかるような場所で使用しないでください。また、水たまり等に浸水させての操作や、延長コード等のプラグやコンセントが濡れた状態で使用しないでください。
- 発電機の設置について
 - 発電機は屋内や密閉された場所では使用しないでください。エンジンの排気ガスは、人体に有害な一酸化炭素などの成分を含んでいます。換気の悪い場所では、エンジンを運転してはいけません。また、運転中は運転者はもちろん、まわりの人や家畜などにも排気ガスに十分注意してください。
 - 設置場所は安定した雨や水のかからない所を選んでください。発電機内部やコンセントなどに水が浸入すると、漏電の原因になります。
 - 出力に余裕のある発電機を使用してください。始動時の電流に対して余裕が無いと、発電機の寿命が短くなるとともに、故障の原因になります。
 - 発電機の取扱注意事項を守ってください。必ず使用される発電機の取扱説明書を参照してください。
- スイッチが切れていることを確認する。
 - スイッチが入っている事に気が付かないで電源プラグを電源側コンセントにさし込むと、本機が不意に起動して思わぬ事故につながります。電源側のスイッチがOFFである事を必ず確認してください。
- プラグとコンセントの組付けを確認する。
 - 本機のプラグと継ぎ(延長)コードや電源までの接続部が完全に組付けてあるか確認してください。
- さし込みプラグおよび電源コンセントを確認する。
 - さし込みプラグを差し込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。



注意

- 継ぎ(延長)コードについて
 - 直接電源用コンセントに接続してください。電源から使用場所まで距離がある場合には継ぎ(延長)コードを使用してください。
 - 継ぎ(延長)コードは長くなるほど抵抗値が増えて電圧が低下し、本機の起動および出力が低下しますので、出来るだけ太いコードで最低限の長さで使用してください。
 - 継ぎ(延長)コードは、許容電流以上のものをご使用ください。コードリールなどで一度に複数台数延長する場合は、必ず合計の許容電流に合ったものをご使用ください。
 - たこ足配線や数本のコードを継ぎ足して使用しないでください。
 - 必ず使用前に継ぎ(延長)コードが劣化や破損していないか確認してください。
- 周囲気温を確認し、高温下での使用を避ける。
 - 周囲温度0℃～40℃の場所で使用してください。温度が40℃以上の場所で連続で使用を続けると本機の寿命が著しく短くなり場合があります。
- 凍結による不具合などは、ユーザーの責任となりますので、ご注意ください。



4.3 設置の注意事項

危険

- 不安定な場所に設置しない。
 - 本体が転倒して破損したり人にケガをさせる恐れがありますので、傾斜地や軟弱地盤のような不安定な場所に設置しないでください。必ず本機を堅ろうで水平な場所に設置してください。



⚠ 危険

- アース(接地)の確認
 - アースの結線なしでは使用しないでください。アースの結線なしで本機を使用すると重大な事故が発生する可能性があります。アースは必ず第三種接地規定に従ってとってください。
- 水道水の使用
 - 本機には必ず新しい水道水を使用してください。水道水以外や時間の経過した水道水を使用すると、含まれる雑菌が空中に飛散し、健康を害する危険性が生じます。また、微細な砂やゴミ等による本機内部の詰まりを生じ故障の原因になります。
- 発火に対する備え
 - 作業時には消火器をご用意いただき、発火した場合は消火器をお使いください。万一、火災その他の障害により本機や電源コードから発火発煙したら、機械から離れ、まず、自分の身体の安全を確保してください。
- 電子機器には濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。



⚠ 注意

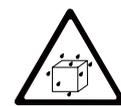
- 万一の事故に備えて電話機の近くの目につきやすい場所に、医療機関、消防署(救急車)などの電話番号を明記しておいてください。特に消防署への連絡の場合には、救急車のために目標地点(住所や近隣の建造物など)も明確にしておく、的確な連絡に役立ちます。
 - 単独で作業する場合は、作業を行なっている場所が他の人にもわかるようにしておいてください(黒板に作業現場をメモするなど)。負傷して動けなくなり帰れない場合の対処として有効です。
 - 作業現場には、呼子(笛)を携帯してください。
 - 万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
 - 出血をとまなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、手ぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業場へ携帯することをおすすめします。



4.4 運転時の注意事項

⚠ 危険

- 濡れた状態で操作しないでください。操作する際に濡れた状態で行うと、漏電等の故障になるばかりでなく、感電する恐れがあります。
- 通電中は、コネクタ・プラグなどを抜き差ししないでください。機器の破損や感電する恐れがあります。
- 作動中は、プラグ・端子部に触れないでください。感電する恐れがあります。



⚠ 警告

- 5分以上のカラ運転(無負荷運転)をしないでください。
- カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

- 本機に直接噴霧(濡らさないで)しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。
- 使用後は必ずホース・タンク・ストレナーの水を抜いてください。
- ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。
- 発電機使用時について
 - 使用中の発電機に他の電気器具を接続すると、本機分の電気容量が確保できない恐れがあります。
 - 本機の電源スイッチを入れたままで、発電機を始動や停止させないでください。必ず発電機の操作を行う時は、本機のスイッチは切ってください。

本機のスイッチを ON にしてエンジンの始動や停止を行うと、発電機が故障する原因となります。

4.5 運搬時の注意事項

⚠ 危険

- 運搬での移動時は、しっかりと本機を固定してください。
 - 運搬中に落下し、破損する恐れがありますので荷台にしっかりと固定してください。
- 吊り上げ作業に対し、本機部品の損傷やネジの緩み・脱落が無く安全である事を確認してください。
- 吊り上げ時は必ずタンク内の水は抜いておいてください。
- 強度の十分なワイヤーロープ等を使用してください。
- 安全の為、必要以上の高さには吊り上げないでください。
- ワイヤーロープに損傷がある時は使用しないでください。
- 吊り上げ作業は吊り下げフックのみ使用し、その他の部位(ファンやモーターなど)での吊り上げ作業はしないでください。
- クレーン操作での急激な吊り上げ・吊り下げは絶対に行わないでください。斜めにしないでまっすぐ上下になるように上げ下げしてください。
- 本機を吊り上げた際、下には絶対に人や動物を入れしないでください。
- 吊り上げ機械操作時に事故の無いよう充分注意して下さい。また、吊り上げ機械に故障が無いか確認してください。

クレーンによる積み下ろし作業は資格が必要です。クレーンの運転や玉掛け作業資格を持っている人が行なってください。

⚠ 警告

- 本機の積み込み時はタンクの水を抜いてください。
- 横に倒して運搬する場合は、安定する向きにして動かないようにしっかりと固定してください。

⚠ 注意

- 強い衝撃が加わると破損する恐れがありますので、移動・運搬や積み下ろしなどの際には十分注意してください。

4.6 保管時の注意事項

⚠ 危険

- 積み重ねないでください。
 - 積み重ねての保管は、不安定で落下しやすくなりたいへん危険です。

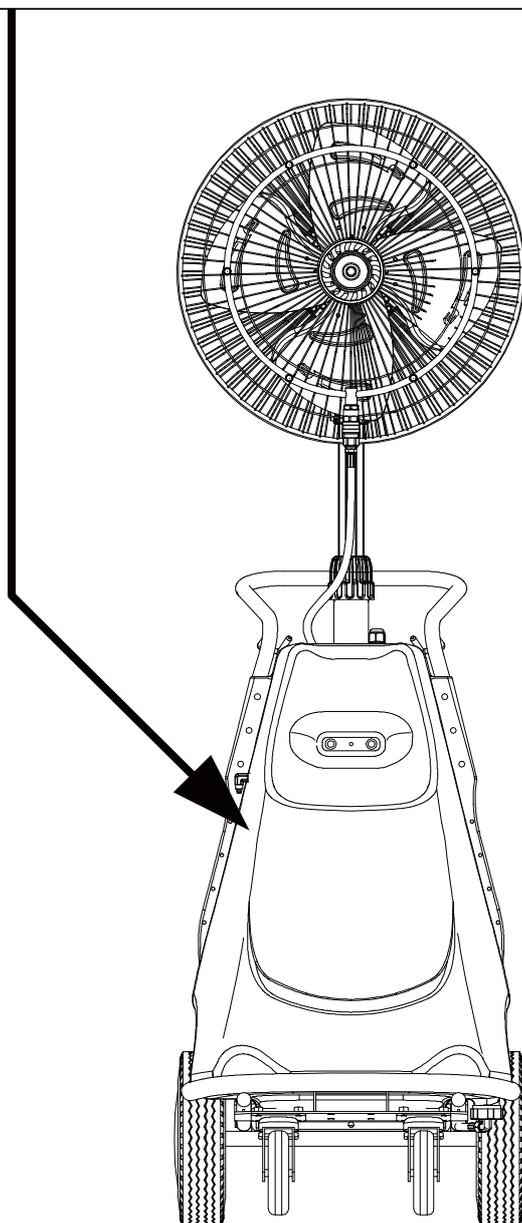
⚠ 注意

- 保管時には必ず水抜きを行ってください。
(タンク内に水を入れたまま放置すると雑菌が繁殖する恐れがあります。)
- 長期保管する場合には必ずタンク内を清掃してください。また、長期保管後はタンク内を消毒してからご使用ください。
- 必ず保管する前に泥や汚れなどを落として点検や整備を行ってください。
- 保管は屋内で行い、雨ざらしや高温多湿を避けてください。長期保管の場合は、カバーなどで覆ってください。

4.7 警告表示ラベルの貼付位置

部品番号: B181564022

⚠ 危険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生する恐れがあります。保守・点検の際は必ず電源を「停止」にして、かつプラグを抜いてください。電子機器を濡れた手でさわらないでください。感電する恐れがあります。
⚠ 警告	カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。
⚠ 注意	取扱説明書をよく読んで、正しく作業してください。本機に直接噴射しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。使用後は、ホース、タンク、ストレーナの水を抜いてください。ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。



5. 仕様

5.1 仕様

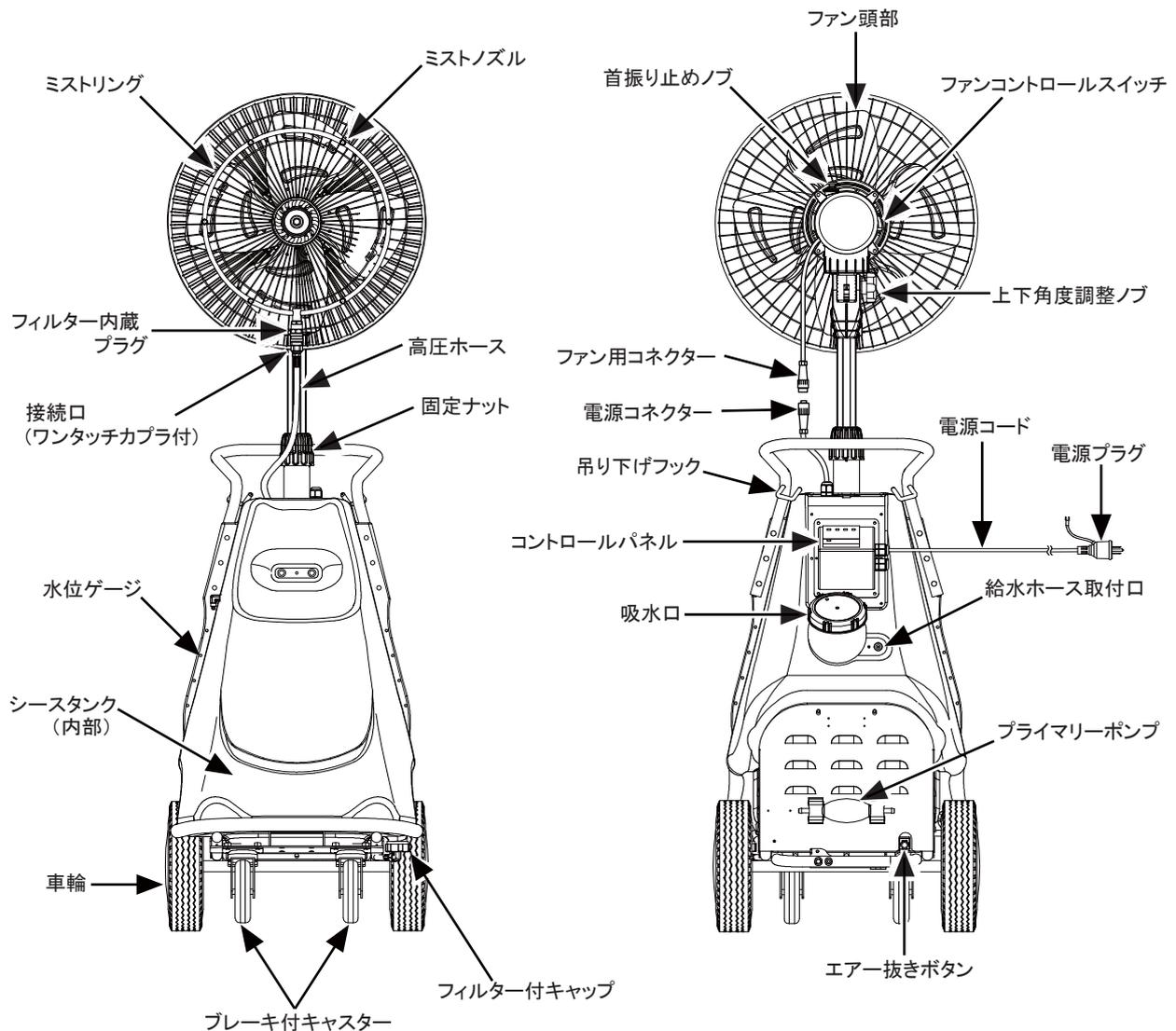
型式	電圧(V)	電流値(A)	消費電力(W)	周波数(Hz)	回転数(rpm)
MWM-502A	100	4.13/3.75	310/350	50/60	1415/1720

寸法(L×W×H) 単位mm	装備質量(kg)	水タンク量(L)	最大吐出水量(L/min)
620×530×1,650~1,870	42	36	0.4/0.5

吐出圧力(MPa)	噴霧量(L/min)	左右首振り角度	上下首折れ角度
6.5/7.0	0.276	90°	54°

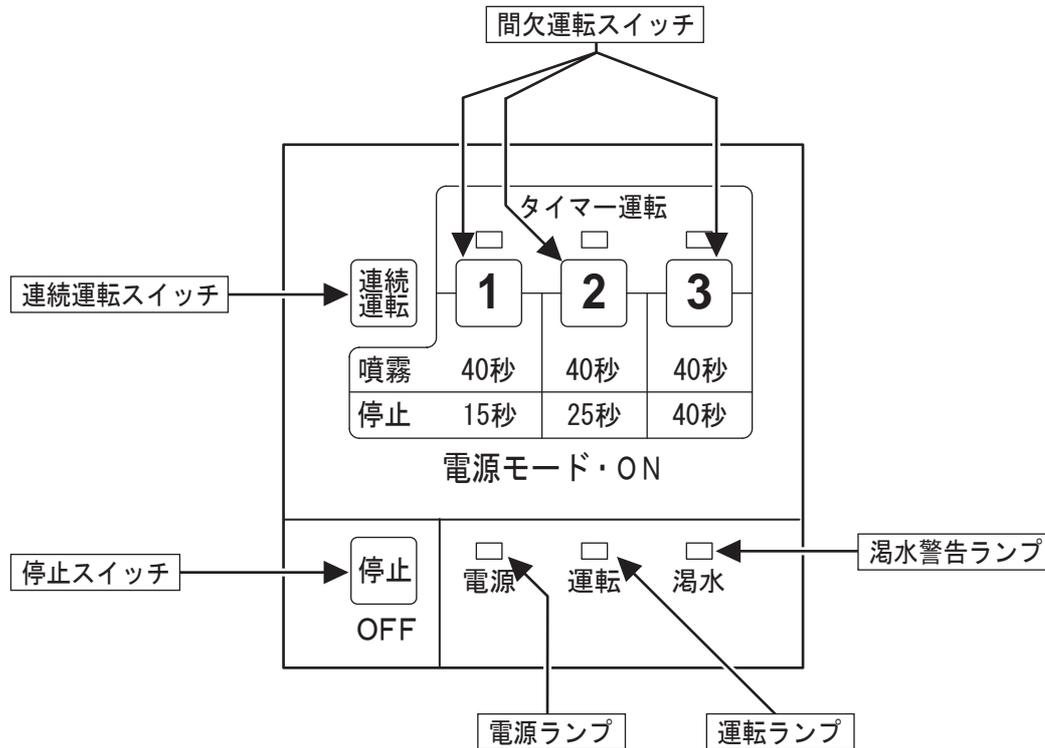
※ 本仕様は予告なく変更する事があります。

5.2 各部装置説明



6. 基本操作

コントロールパネルの操作方法



● タイマー運転(間欠運転)

一定の噴霧時間と停止時間を3つのパターンで繰り返し運転します。

- スイッチ1: 噴霧40秒, 停止15秒を繰り返して運転します。
- スイッチ2: 噴霧40秒, 停止25秒を繰り返して運転します。
- スイッチ3: 噴霧40秒, 停止40秒を繰り返して運転します。

いずれかのスイッチを5秒間押し続けてください。

● 連続運転

連続運転を行います。

連続運転スイッチを5秒間押し続けてください。

● 停止スイッチ

停止スイッチを押すと, 運転が停止します。

● 水抜き方法(使用後は必ず水抜きを行ってください)

1. シースタンクの水を排水口より抜いてください。
2. 「濁水警告ランプ」が点灯したのを確認した後に電源プラグをコンセントより抜いてください。
3. もう一度電源プラグをコンセントへ差込みます。
4. エアー抜きボタンを押したまま、「連続運転スイッチ」を約5秒間押し続けます。
5. エアー抜きボタンのパイプより約15秒間水が出た後に自動的に停止します。
停止したのを確認してからエアー抜きボタンから手を放してください。
※ もし「濁水警告ランプ」が点灯して作動しない場合は、前項の「2」から再度やり直してください。
6. 水がシースタンクに残っていますので排水口より水を抜いてください。
7. 以上で、水抜きが完了です。

7. 運転（準備～始動～停止）

7.1 準備

標準装備品

- ミスト装置(本体、ファン完結品)
- 取扱説明書
- フィルタ付ノズル(0.15mm)×6個
- ノズルセット(ノズル0.15mm×2個、フィルタ×6個)

運転前準備

- ミスト装置の本体にファン完結品を取り付けてください。
本体の高圧ホース(ワンタッチカプラ メス)をファンリング(ワンタッチカプラ オス)に確実に取り付けてください。
(写真1)
- ※ 運転時には圧力がかかりますので、確実に取り付けてください。けがをする恐れがあります。
- 本体の電源コネクターとファン用コネクターを接続してください。(写真2)
- ※ 電源コネクターは確実に取り付けてください。
感電や漏電の恐れがあります。
- ミストリングに標準装備品のフィルタ付ノズル(0.15mm)×6個を確実に取り付けてください。(写真3)
- ※ フィルタ付ノズルは確実に取り付けてください。
水漏れ、フィルタ付ノズルやOリングの破損の恐れがあります。



写真1



写真2

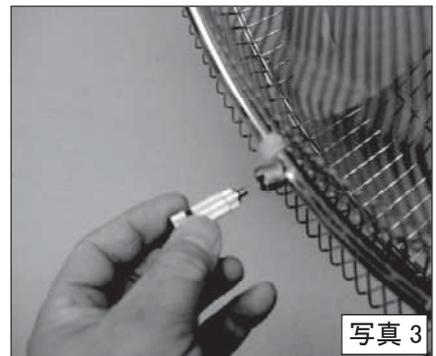
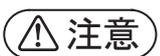


写真3

7.2 始動

- 水道水、又は低圧ポンプを使う場合
 - ・ 給水ホースの端を吸水口に取付けてください。
 - ・ 反対側を水道の蛇口、又は低圧ポンプに取付けてください。
 - ・ 各接続口はしっかりと取付けてください。
 - ・ 電源プラグの接続
- 電源プラグを単相100Vのコンセントに接続してください。
※ 高圧ホースは、本機吐出口に確実に接続してください。



規定の電源(単相100V)以外は使用しないでください。火災、感電、故障の恐れがあります。



電源コードの延長はしないでください。やむ終えず延長する場合は必要容量(A)の十分満たされるものをご使用ください。

⚠ 注意 5分以上のカラ運転をしないでください。

⚠ 注意 凍結による不具合などは、ユーザーの責任となりますので、ご注意ください。

⚠ 危険

アースの結線なしで、本機を使用すると重大な事故が発生する可能性があります。
アースの結線なしでは使用しないでください。
アースは必ず第三種接地規定に従ってとってください。

7.3 運転

1. 本機への送水を開始して漏水警告ランプが消えてからエア抜きボタンを押したままプライマリーポンプを握ったり離したりし、水がエア抜きボタンのパイプから出るまで操作してください。
2. コントロールパネルの《間欠運転スイッチ》と《連続運転スイッチ》のどちらかを約5秒間押し続けてください。
3. エア抜きボタンを押して給水ホース内のエアを抜いてください。
4. エア抜きボタンから手をはなすとノズルから噴霧がはじまります。ファンコントロールスイッチを回してスイッチを入れてください。
5. ファン回転は三段階の調整が出来ます。
6. ファンの首振り「首振り止めノブ」を押し込むと首を振り、引き上げると固定します。
7. ファンの上下調整は上下角度調整ノブをゆるめると上下に動き、締めると固定します。
8. ファンの高さ調整は、支柱の固定ナットを緩めると支柱が上下に動き、締めると止まります。ファンの高さ調整は無段階で調整できます。

7.4 停止

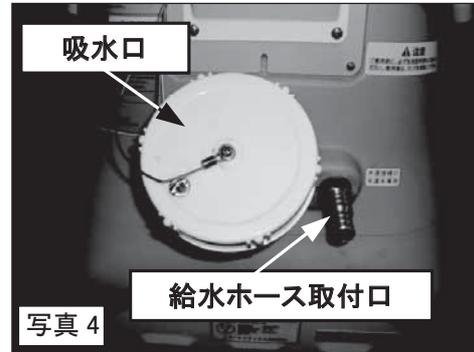
1. コントロールパネルの停止スイッチを押してください。
2. 本機への送水を停止して下さい。
3. ドレンコックを開け水道水の圧力を抜いてからホースを外してください。
4. ファンコントロールスイッチを回してスイッチを切ってください。
※作業を終了する場合はタンクの水を水抜き方法に従い排出し、各ホースを外して電源プラグを抜いてください。(P8参照)

プライマリーポンプの使用方法

三笠エポックミストをご使用になる前に必ず、手順に従ってエア抜き(水出し)を行ってください。

※ 電源が切れていることを必ず確認してください。

1. シースタンクの吸水口または給水ホース取付口よりシースタンクに水を入れてください。(写真4)

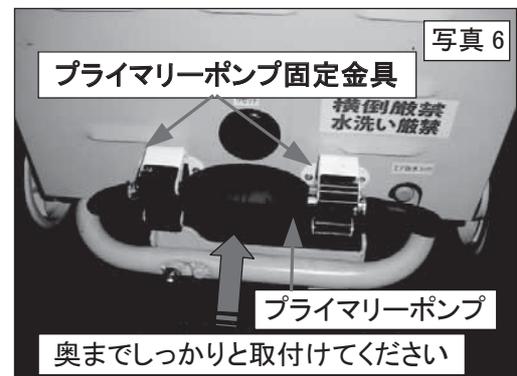


2. プライマリーポンプをつかみ少し手前に引き出してください。
シースタンクに水が入っていることを確認してください。エア抜きボタンを押したままでエア抜きボタンのパイプから水が出てくるまで、プライマリーポンプを握ったり離したりを繰り返してください。(写真5)

※ 30秒以上行っても水が出てこない場合は、配管の折れや詰まり等がないかを確認してから、再度 操作を行ってください。



3. プライマリーポンプをプライマリーポンプ固定金具に奥までしっかりと取り付けてください。(写真6)



4. エア抜き(水出し)の作業は完了です。

8. 点検・整備・保管

8.1 点検・整備

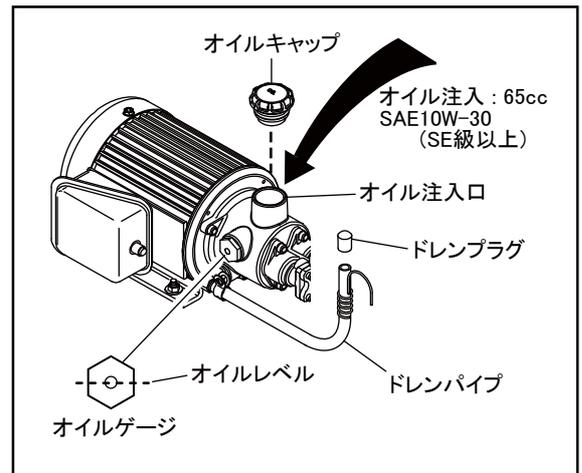
部 品 名	整 備 内 容	整 備 時 期
ポンプ	オイル交換	初回は50時間使用后、以降100時間ごと/1年に1度
	油量・汚れ確認	毎回使用前
ストレーナ及び フィルター	清掃	毎回使用后
ノズルフィルター	交換	約100時間ごと又は月1度

※ この表の時期にしたがって、整備・点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備・点検の回数を増やしてください。

● ポンプのオイル交換

・ 最初は50時間使用后、その後は100時間使用后または1年に1回行なってください。

- ドレンパイプからドレンプラグを外してモーター内のオイルを抜きます。オイルの抜取りが完了したらドレンプラグを取り付けて元に位置に戻します。
- オイルキャップを外して、オイル注入口からオイルを入れます。オイルはSE級以上のSAE10W-30のエンジンオイルを使用してください。オイル量は65ccです。オイルゲージの規定レベルで確認してください。
※ オイルは規定量以上に入れないでください。
性能が低下する場合があります。



- 完了後はオイルキャップをしっかり締めてください。
※ オイルキャップ取付はオイルキャップ上部を押しながら取付けてください。
(エア抜き作業が行えます)

● ストレーナ

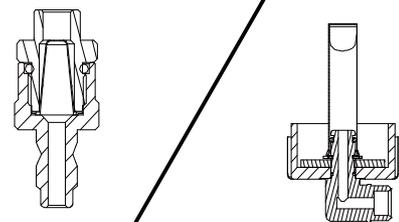
・ ストレーナの汚れを点検し、ゴミや異物の詰まりの除去。

重 要

冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行なってください。

凍結による不具合などは、メーカーの責任外となりますので、ご注意ください。

カプラ内ストレーナ



ストレーナ付ドレンコック

8.2 保管

● 運送・移動

- ・ 運送や移動時は本体よりファン完結品を取り外してください。



本体にファン完結品を取り付けたまま移動(走行)しますと、ファン完結品が破損する恐れがあります。

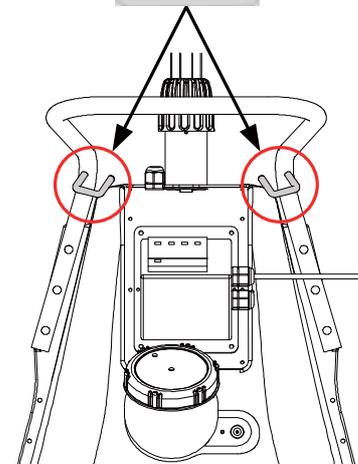
● 積み込み

- ・ 本機を吊り下げる際は、必ずタンクの水を抜き
- ・ 本機の吊りフックの位置に合わせて吊り上げてください。
- ・ 本機をフォークリフトで作業しないでください。



本機の破損のおそれがあります。

吊りフック位置



長期保管 (シーズンオフに向けて)

- この三笠エッポクミストを長期ご使用しない場合には、必ずタンク内を清掃し水抜き方法に従いポンプより水抜きを行ってから保管してください。
(使用後タンク内に水を入れたまま放置すると雑菌が繁殖する恐れがあります。)

● タンク内消毒要領

1. タンク内の水抜きをする。(P8「水抜き方法」参照)
2. タンク内、ノズルの消毒。
 - ・ タンク内に消毒液(消毒液の作り方を参照)を入れ3分間ミスト装置を運転しノズルより噴霧してください。



噴霧中の消毒液は吸込まない様にしてください。
周りに人や動物がいないことを確認してから作業してください。

3. ミスト装置を停止します。
4. すすぎ運転。
 - ・ 再度タンクに水を入れミスト装置を運転しノズルより3分間噴霧してください。
5. 水抜き方法に従って水抜きを行ってください。(P8「水抜き方法」参照)

- 長期保管後(新品、未使用除く)は、タンク内を清掃してから消毒を行ってご使用ください。

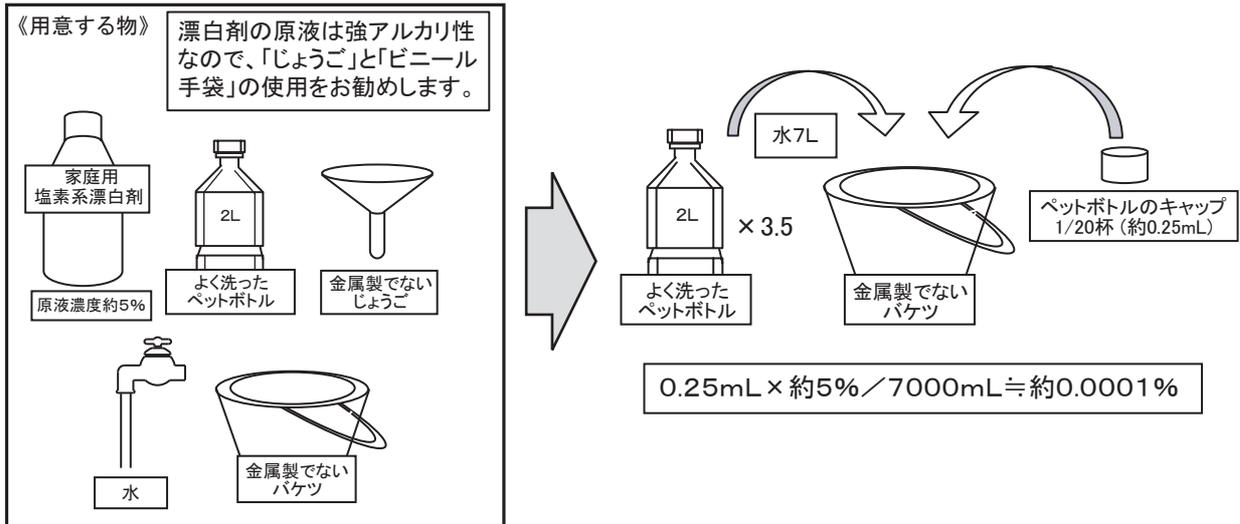
● 消毒液の種類

※ 次亜塩素酸ナトリウム⇒市販の「家庭用塩素系漂白剤」

塩素消毒(次亜塩素酸ナトリウム)を行う場合の希釈倍率

用途	実行有効塩素	希釈倍率	希釈例
水(飲料水、プール、排水)	0.8 ppm~1.0 ppm	約140,000倍	1mL/140L水

● 消毒液の作り方



8.3 長期使用製品安全表示制度

本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電器用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体(ファンモーター側面)に行っています。

【製造年】 2017年
【設計上の標準使用期間】 5年
 <p>設計上の標準使用期間を越えて使用されますと、経年劣化による発火、ケガ等の事故に至る恐れがあります。</p>
<p>設計標準使用期間とは、標準的な使用条件下で使用された場合、安全上支障なくご使用いただける標準的な期間の目安です。 保証期間ではありません。</p>

設計上の標準使用期間とは

- 標準的な使用条件の下で、適切な取扱い(人為的な衝撃や破壊が無い場合)で使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保障期間とは異なります。

経年劣化とは

- 長期間の使用や放置することに伴い生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件 日本工業規格(JIS C9921-1)

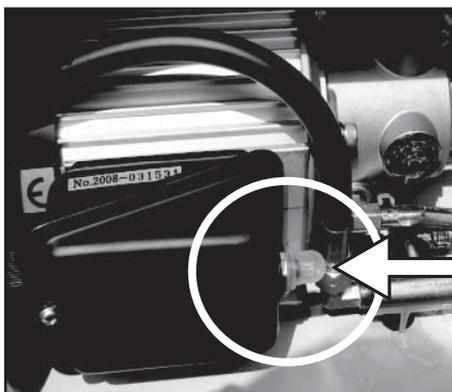
環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50Hz / 60Hz
	温度	30°C
	湿度	66%
	設置	標準設置
負荷条件		定格負荷(風速)
想定時間等	運転時間	8h/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

8.4 故障かなと思ったら・・・

症状	原因	対策
水を吸わない	水道水が供給されていない。	水道の元栓を開ける。
	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	高圧ホースに水道ホースを直結し運転する。 バルブ関係の清掃又は交換★
	給水ロストレーナー(ろ過器)の目詰まり。	給水口を外しストレーナー(ろ過器)の清掃。
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
ノズルから 噴射しない	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	バルブ関係の清掃又はノズルフィルターの交換★
	ノズルの詰まり	ノズルの清掃またはノズルフィルターの交換
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
	リリースバルブの固着又は磨耗。	リリースバルブの清掃または交換★
ノズルからの 噴射が 安定しない	プレッシャバルブの作動不良。	プレッシャバルブの清掃 またはOリングの交換★
	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	バルブ関係の清掃又は交換★
	ノズルの詰まり	ノズルの清掃またはノズルフィルターの交換
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
	リリースバルブの固着又は磨耗。	リリースバルブの清掃または交換★
起動時モーター 回らない	渴水ランプ(コントロールパネル内)が点滅。	水道の元栓を開ける。
	リセットスイッチが作動している。 (リセットスイッチのボタンが飛び出ている。)	リセットスイッチのボタンを押し込む。 (☆取扱説明書P19の※リセット方法参照)
	電源の不足。	電源の確認(単相100V)

★印 部品交換・修理の場合、お買い上げの販売店または裏面弊社サービスセンターへお問合せ下さい。

※ リセット方法



半透明のカバー内のボタンが飛び出ているとリセットが作動しています。指で軽く押ししてください。白いカバー内のボタンが左のように押し込まれたらモーターが作動します。

Mikasa

MIKASA SANGYO CO., LTD.

1-4-3, Sarugakucho, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064, Japan

三笠産業株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3

修理に関するお問合せ

TEL 048-734-2402 FAX 048-734-7678

部品に関するお問合せ

TEL 048-734-2401 FAX 048-736-6787

その他のお問合せ

info@mikasas.com

Web パーツリスト

<https://www.mikasas.com/MIKASA/index.html>



PRINTED IN JAPAN